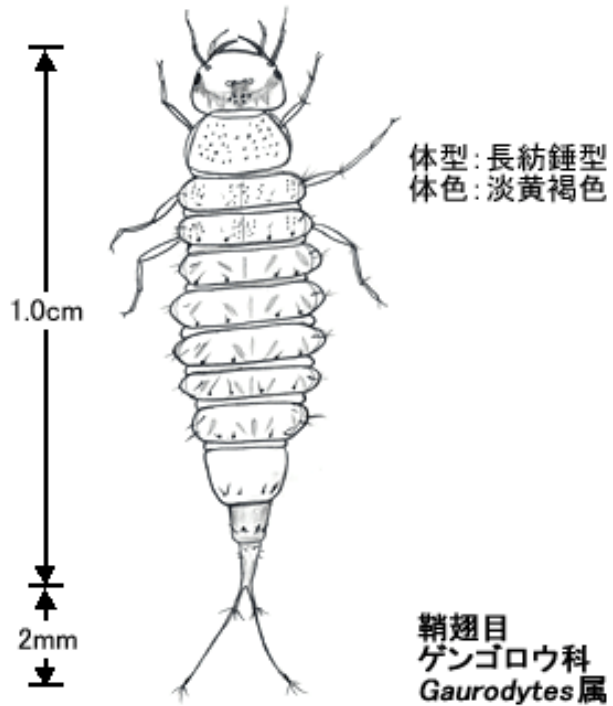


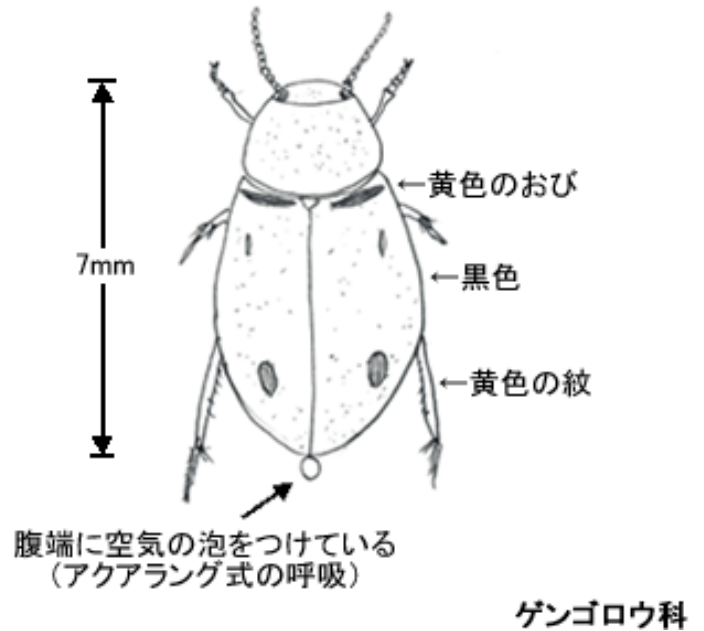
河川で見る生き物たち

市街地の生きもの 広瀬重夫

流れのなかの小動物(3)



マメゲンゴロウ
4月、生田川・芋川の合流点



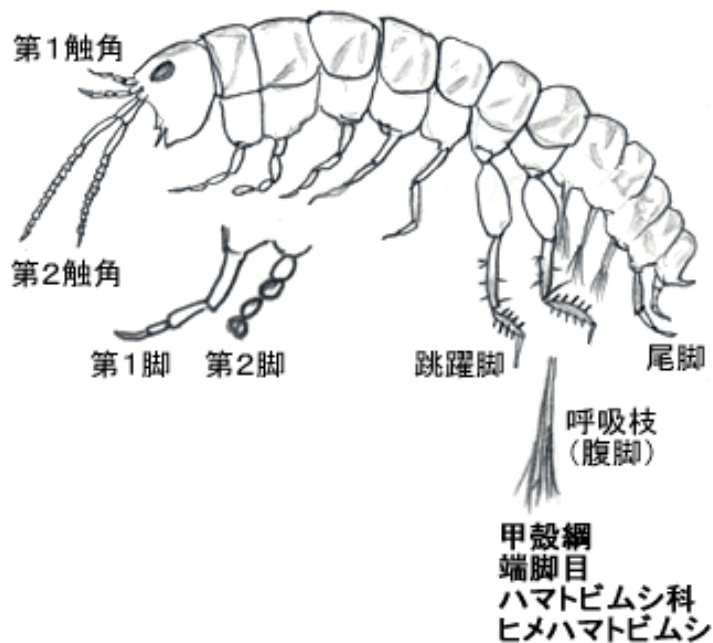
モンキマメゲンゴロウ
6月、生田川・芋川の合流点

■ マメゲンゴロウ

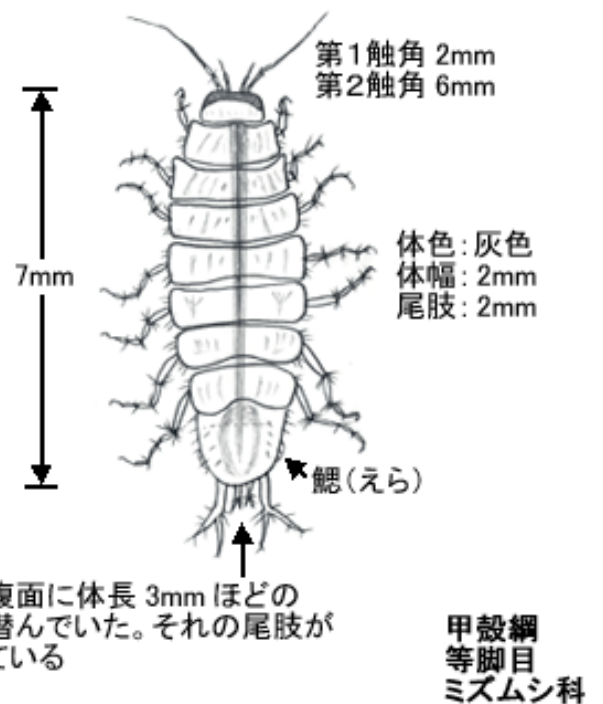
浅い水流の緩い石・レキの下にいました。

■ モンキマメゲンゴロウ

流れに引っかかった朽葉・ゴミなどの間に潜んでいました。



ヒメハマトビムシ
6月、生田川・芋川の合流点



ミズムシ
4月、生田川・芋川の合流点

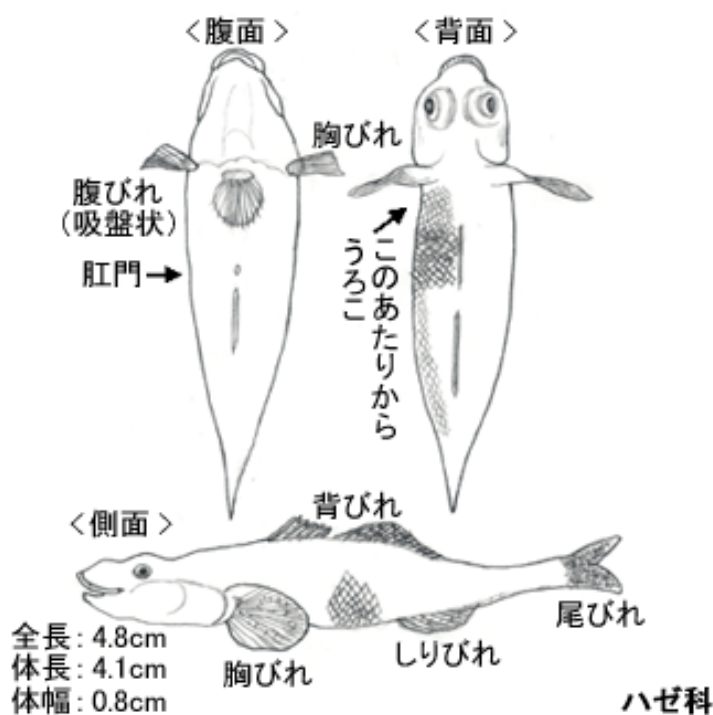
■ヒメハマトビムシ

水際の朽葉・流木などが堆積したところに潜んでいて、ノミのようにジャンプします。

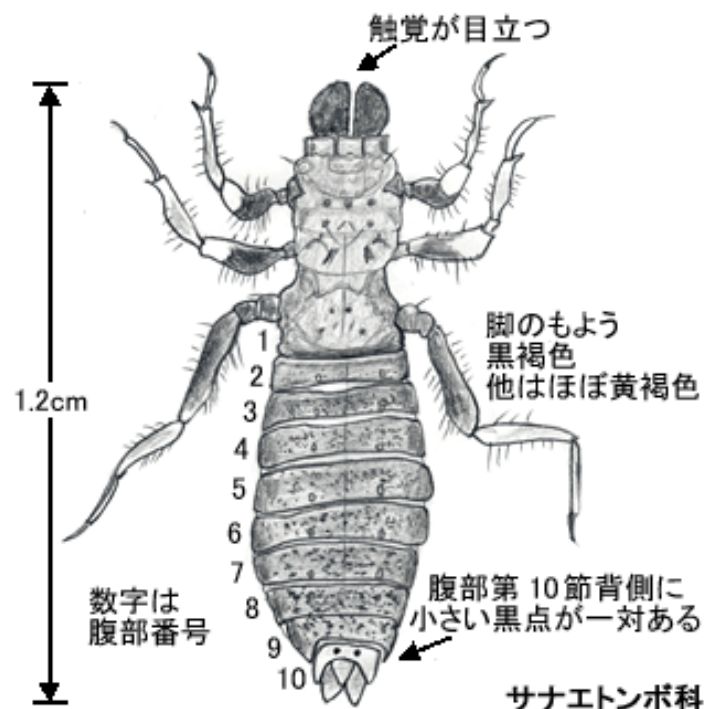
生きたままの観察は困難なので水に入れました。水と空気の屈折率が災いして見づらくなってしまい、細部がよく分かりませんでした。第2脚の構造からみると♀のようです。

■ミズムシ

浅く、水流の緩い転石下などにいます。



カワヨシノボリ
6月、住吉川



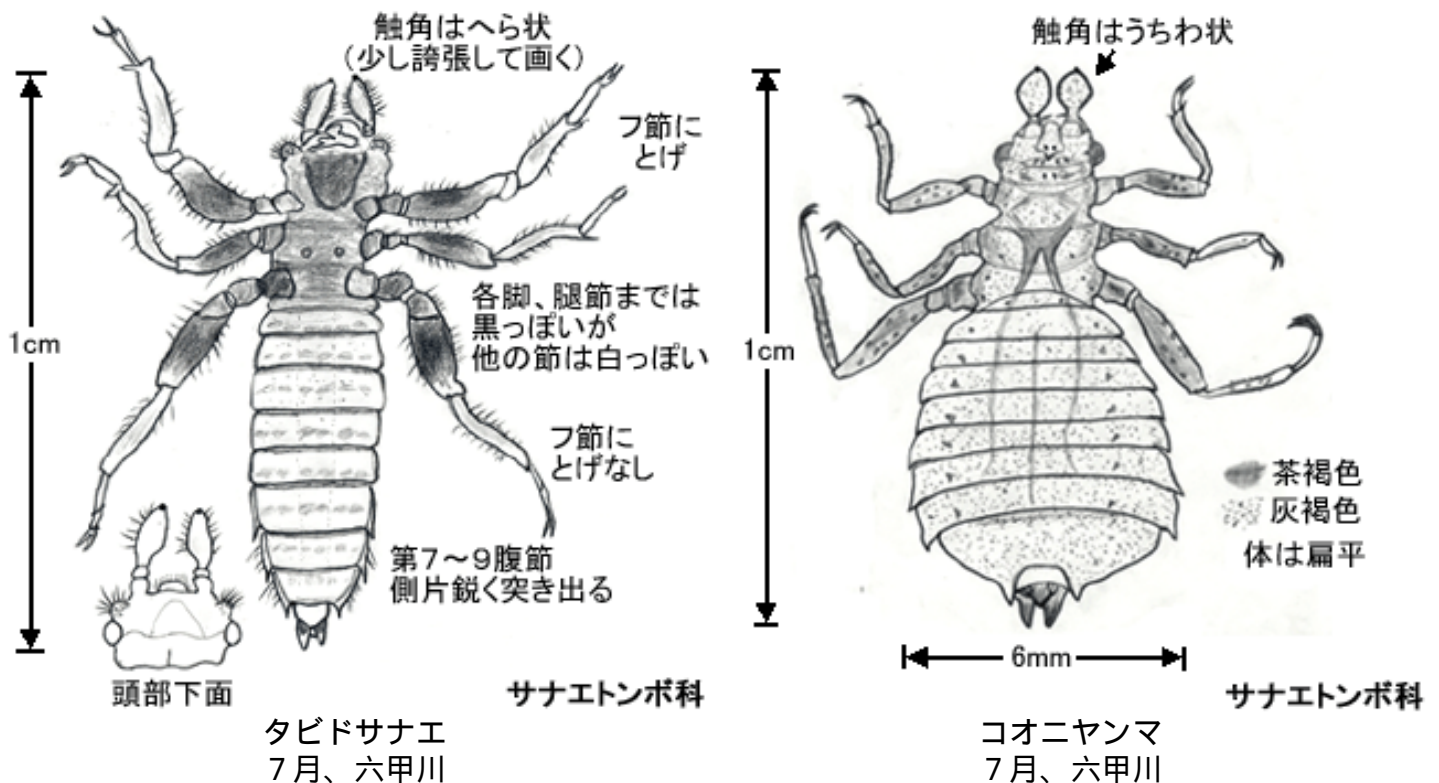
オジロサナエ
7月、六甲川

■ カワヨシノボリ

住吉川河口から200mほどの流れの速い段差の石の間にいました。上流側の石を動かし、下流側で網を受けると引っかかりました。

■ オジロサナエ

都賀川の中流部で杣谷川との合流点より上流で見つけました。中州・寄州の堆積地の植生の水際を引っかくと網にかかってくる。



■ タビドサナエ

中洲の間を流れる水際の植生の根本を搔いて、網で受けるとかなり多く生息しているのが分かります。

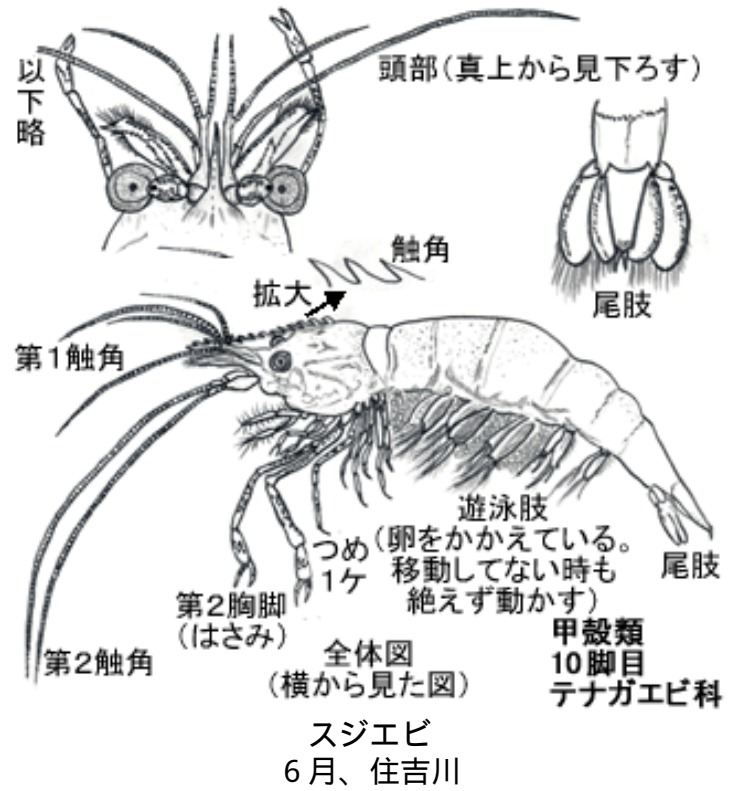
■ コオニヤンマ

六甲川（都賀川中流部）で見つけました。植生のある中州・寄州の間などの水際の根元を引っかいたら網にかかりました。

■スジエビ

人の頭ほどの石の下に潜んでいることが多いです。

このスジエビは体長3cm、第1触角が1.5cmと1.8cm、第2触角は5cmでした。



[このページのPDFファイル](#)



トップページへもどる